

ダウン症 発達障害 知的障害 重症心身障害

ひとりで悩まず、相談を！

当センターでは様々な活動を支援しています

いきいき新聞

8月号

津山市地域づくりサポートセンター
津山市大田920
リージョンセンター内
電話27-0600

発行



ホームページ
QRコード



印刷機あります
有料用紙持ち込み

※裏面も
ご覧ください！

交流を深めよう！

ダウン症児親の会

「あひるの会」は岡山県北部のダウン症児親の会です。主にダウン症をはじめ心身障害児の療育と社会福祉向上、人権保護をはかることを目的としています。活動や療育を通じて子どもたち、ご家族との交流を深め、情報交換を行っており、「親のあとをヨチヨチと追いかけるひよこの可愛らしさと、しっかりと

岡山県北を中心に活動をしている当団体は今年で32年目を迎え、会員数は60家族になりました。現在、新型コロナウイルスの影響であまり集まれています。岡山県北を中心に活動をしている当団体は今年で32年目を迎え、会員数は60家族になりました。現在、新型コロナウイルスの影響であまり集まれています。



書のアート作品づくり

「あひるの会」は岡山県北部のダウン症児親の会です。主にダウン症をはじめ心身障害児の療育と社会福祉向上、人権保護をはかることを目的としています。活動や療育を通じて子どもたち、ご家族との交流を深め、情報交換を行っており、「親のあとをヨチヨチと追いかけるひよこの可愛らしさと、しっかりと

岡山県北を中心に活動をしている当団体は今年で32年目を迎え、会員数は60家族になりました。現在、新型コロナウイルスの影響であまり集まれています。

平成22年のクリスマス会をきっかけに津山市の書家・山下度華さんが毎年、3月21日の「世界ダウン症の日」に合わせて書のアート作品のワークショップを行っています。この日を心待ちにしている会員もおり、作品は書道展で展示され、多くの方の目に留まっています。



ダックスターズ

当団体のヒップホップダンスユニット「ダックスターズ」は体を動かすことが大好きなメンバーで結成され、

経験が「自信」へ

知的障害・発達障害 重症心身障害

「津山手をつなぐ親の会」は、津山市に在住の知的障害、発達障害のある本人とその家族をつなぐことを目的とし、平成20年に発足しました。立ち上げ時の会員数は7〜8組でしたが、今現在は50組になりました。お互いの課題や悩みを共有し、支えあう事の出来る仲間作りや、行政や関係機関とのネットワ

「津山手をつなぐ親の会」は、津山市に在住の知的障害、発達障害のある本人とその家族をつなぐことを目的とし、平成20年に発足しました。立ち上げ時の会員数は7〜8組でしたが、今現在は50組になりました。お互いの課題や悩みを共有し、支えあう事の出来る仲間作りや、行政や関係機関とのネットワ



なかまあず

しいこと、歌うことが大好きなメンバーが「なかまあず」として活動を行っています。障害のある本人達からは「自分たちで出来ることは自分たちでやってみよう！」を合言葉に、積極的に取り組んでいます。「モノリザユカク！ワークショップ」の開催や、去年参加した美術大学 学園祭「白梅祭」では野外ステージで歌と踊りを披露しました。その中の1曲「勇気100%」は、発表の際の定番曲



モノリザを描きました

地域でのこうした活動を通して、障害への理解と啓発を行っています。成長を共有して色んな

な子を見ることで親子ども、みんなの「経験」が「自信」へつながる。「丁寧に活動していくことが大切。大事なことを話すのだから会うことが一番大事。相談は年齢関係なくできる。すぐに何か解決するわけではないかもしれないけれど、何か話せる。誰でも気軽にきてね」と想いを話してくださいませます。

*問い合わせメールアドレス
oyanokai_tsu
yama@yahoo.co.jp

地域交流イベント♪ 高校生が参加！

津山東高校の生徒が、8月1日(土)鏡野町中谷地区で「なかだにであそぼ！」と題した、地域の子どもたちとの交流を深めるイベントに参加しました！イベントには地域の子どもたちが約20名、そして運営スタッフとして高校生が16名参加しました。

「段ボールピザ窯でピザを作って食べよう！」からプログラムは始まり、子どもから大人まで参加者みんなで手分けして手作りピザに挑戦。外で焼いた出来立てのピザの味は格別だったようです。午後からは、近くの川で川遊び。河原では、スイカ割りやカキ氷が振る舞われました。

今年は梅雨明けが遅く、天候が心配されましたが、夏の日差しを感じながらのイベントとなり、夏の思い出作りとなりました♪

